

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。
※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	ブリストル大学	氏名	
国名	英国	学籍番号	
留学期間	2024 年 7 月 ~ 2025 年 5 月	記入年月日	2025 年 6 月 4 日

1	履修したすべての科目についてお書きください			
	主な専攻分野: マネジメント・国際関係			
	科目名	Enquiry Analysis and Communication (EAC)	科目名	The Politics of the Global South
	授業内容	マネジメント専攻1年生の基礎になる授業であり、マネジメントを学ぶ学生に対する文献探しの方法や引用についてエッセー執筆における基礎技能を習得する	授業内容	世界全体をGlobal Northと Global Southに分けて格差や植民地化の遺産を先進国側であるヨーロッパの視点で学ぶ。
	授業形式	講義＋セミナー	授業形式	講義＋セミナー
	単位数	20	単位数	20
	サイズ		サイズ	
	難易度 Course No.	不明	難易度 Course No.	C/4
	宿題の量	中間グループプレゼン、期末エッセー	宿題の量	中間エッセー、期末エッセー
	コメント	現地生は1年次の単位が卒業に影響しない関係で講義、セミナー出席者が圧倒的に少なく、やる気のある生徒が少なくディスカッションやグループワークは大変であった。その反面教授との距離は近くなるので積極的に質問や相談をすると良い。	コメント	特に政治的な部分にフォーカスし、前半はブリストルの歴史について深掘りし、街中ツアーなどの開催もあった。自分が学んでいる大学のことがわかることがとても良かった。参加学生は国際問題に興味のある生徒で留学生に対してもフレンドリーな印象があった。
	科目名	Contemporary European Cinema	科目名	Global Challenges
	授業内容	西洋の映画を毎週1作品鑑賞し使用されている技法や効果について分析する授業	授業内容	植民地化、汚職、AIの発展、国際保健問題など国際社会における国際問題について毎週一つのトピックをピックアップしそれぞれの専門の教授から学ぶ。
	授業形式	講義＋セミナー	授業形式	講義＋セミナー
	単位数	20	単位数	20
	サイズ		サイズ	
	難易度 Course No.	C/4	難易度 Course No.	C/4
	宿題の量	中間エッセー、期末エッセー	宿題の量	中間エッセー、期末試験(対面)
	コメント	映画の制作で有名なブリストルらしい講義を受講したいと思い選択。現代の映画からモノクロの映画のような普段触れることのない作品も触れることが出来た。留学生が多くとっている授業で毎週数時間の英語を視聴する時間が確保すればディスカッションも問題なく参加できる。担当教授はとても生徒に親身な印象があった。	コメント	津田塾大学国際関係学科での学びとリンクする部分があり興味深かった。それぞれ毎回異なる教授が登場するので様々な英語のリスニング練習にもなった。アジアの視点として個人の意見をディスカッションで求められたりすることもあった。また期末試験結果が評価の100%を占めるため事前に復習をし入念な対策をした

科目名	Priciple of marketing	科目名	Creativr Futures: Tools for changing the world
授業内容	マーケティングの基礎知識について学習する授業需要と供給のバランスや、ステークホルダーの関係性など、基礎を体系的に学ぶ	授業内容	今後の未来を担うであろう大学生に対して未来学的に考える授業。主にはグループワーク中心で留学生受講者が多い授業の一つ
授業形式	講義、2週間に一回のセミナー	授業形式	2時間のグループワークのみ
単位数	20	単位数	20
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.	C/4	難易度 Course No.	C/4
宿題の量	グループワーク、最終個人レポート	宿題の量	グループプレゼン、最終自己プレゼン
コメント	毎週の講義は通常より長い2時間講義を受ける。講義内にミニクイズがあり生徒の学習状況を確認できるようになっている(成績には関係しない)セミナーは2週間に一回のものと同じクラスのメンバーでプレゼンをする必要があり、授業以外の時間で活動する必要がある。最終レポートはプレゼンでの内容を含めた個人的な分析	コメント	与えられたテーマをもとに想像力と発想力を活かして高頻度でプレゼンを行う。意見交換の際には自分の背景や考えなどを伝えて話し合う実践的な英語の勉強にもなった。最終課題は好きな形でのプレゼンでPodcast方式やPower Point 録画など好きな方法を選択することができる。
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	

2	授業において困ったこと、その解決法について教えてください 求められる予習の量が多いことが苦勞したことであると思う。実際提供される文献リストはとて多いが、授業に最低限必要な部分を理解するだけで一苦勞した。また週あたりの授業コマ数は日本の大学と比較して少ないがその分の準備にかかる時間と体力が多くかかるのでとても忙しく感じるが多かった。講義はそこまでの難易度ではないが実際に英語話者の生徒と一緒にディスカッションをするセミナーでは自分自身で用意した分量が他の生徒と比較すると内容が薄く少なく感じられ、差を感じることも多々あったが良い刺激になったと思う。また基礎知識の差もかじることが多く、国際的な事象についてアジアの状況はわかっているがヨーロッパ目線ではわからないため他の生徒の意見などから視野が広がる感覚があり学んでいる実感があつた。				
3	授業以外の活動についてお書きください Global Lounge(国際センターのような場所)で毎週行われるLanguage Caféの日本語ボランティアに1年間参加した。各言語のブースがあり、それぞれのネイティブスピーカーと話す練習をすることのできるものだ。日本の文化や日本語そのものに興味のある生徒に対して日本語を教えたり、文化や慣習について教える活動を行なった。日本に興味のある生徒はかなり多く、他言語と比較しても常に混んでいるブースの一つで日本語のレベルは様々であったがネイティブに近いレベルの生徒もいたり、初心者には基本的なフレーズや言い回しなどについて教えた。一日本人としてさらに日本に興味を持ってもらうために自分から教えたり、国内ではあまり知られていないが海外からの人気の高いものについて教えてもらうなどボランティア側も良い刺激になった。				
4	寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください 寮(またはアパート、フラット)名とその場所 Winkworth house 坂下に位置し、ブリストル市議会近くの広場College Green、大学とシティセンターとの中間に位置し図書館までは徒歩10分程度で利便性は高い。また近隣にはTesco expressや他の学部生や大学院生向けの寮もあり比較的治安のよいエリアだと思われる。 設備についての簡単な説明 大学所有の寮の中で比較的古く、24時間レセプション在中のない寮の一つ。建物自体は年季が入っているように見えるが中に入るとリノベーションがしてあり快適だった。また部屋同士の壁は比較的厚いが廊下の音やキッチンの音は想像以上に聞こえる。棟によっては内装が少し古いままの棟もあるようだが詳細は不明。建物中央の棟の一階にコモンルームがあり、荷物の受け取りが可能。洗濯、ゴミ捨ては地下にある。洗濯乾燥機ともに2個しかないので土日は争奪戦で空いているタイミングにするなど工夫が必要。 <table border="1"> <tr> <td>部屋について</td> <td>1 人部屋</td> <td>広さ</td> <td>8 畳くらい</td> </tr> </table> ルームメイトについて フラット全体は8人まで入ることができ、そのメンバーでキッチンを共有する。構成はイギリス、中国、シンガポール、ウズベキスタンからの生徒と私。自分以外は学部1年生で特にイギリス人のフラットメイトはキッチンで勝手に深夜までPres(クラブ前の飲み会)を開くことが多く、騒音でストレスが溜まるが多かった。初めての一人暮らしの生徒が多いため洗ひ物の溜め込み、ゴミの不始末、私物の無断使用が頻発した。自分のものには記名するなど自己防衛が重要である。 寝具や生活用品の入手方法 寝具は大学のウェブサイトにて事前購入サービスがあり、到着前に届くようにしていた。入寮後に宅配荷物受け取り場に行き取りに行くのみで楽なので推奨。生活用品は入寮後数日でAmazon Prime Studentに加入し生活用品はまとめ買いをしていた。刃物は年齢認証が上手くいかないオンライン購入不可のものもあったため実店舗で購入。アジアンストアのレジカウンターなどに取り扱いがあり、店員に声をかけて購入できる。 生活の感想 他のフラットメイトの騒音に悩まされたことは大きかったが、本人たちと積極的にコミュニケーションをとりルールを早めに明確にしておくべきだ。今回寮の移動は見送ったがあまりに改善が見られない場合や勉強に大きな支障があると自分で思えば推奨する。移動は有料。私の場合荷解きを早期に終わらせていたこと、立地が良かったこともあり移動を見送った。毎週清掃の方がキッチンをクリーニングしてくれるがその前にゴミ捨て、卓上のものを撤去しないと罰金があるので全員で散らかしている人へ声がけをしっかりと行ったりした。	部屋について	1 人部屋	広さ	8 畳くらい
部屋について	1 人部屋	広さ	8 畳くらい		
5	食事についてコメントを書いてください 基本的には自分で食材を買ってきて自分で食べ、フラットメイトと一緒に何かを作ったり、全体でまとめ買いなどは一切行ななかった。食事はキッチンでする生徒と各部屋でする生徒どちらもいる。フラットメイトは1年生のため料理初心者でよく定期的に食材を腐らせたりして異臭がすることもあった。				

6	医療保険についてお書きください		
	渡航前に加入した保険		
	OSSMA		
	留学先大学にあった医療保険制度		
	NHS		
留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)			
包丁で怪我をした為、近隣GPの診察 (OSSMAヘルプダイヤル経由で予約、診察)			
7	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)		
	(現地通貨)		
	渡航旅費	1,230	246,000 円
	帰国旅費	770	154,000 円
	引越し(往復で)	7	1,400 円
	保険	443	86,750 円
	語学研修費	1,140	227,992 円
	留学先学費	22,500	4,500,000 円
	本学学費	1,000	200,000 円
	教材費	0	0 円
	住居費	8,000	1,600,000 円
	食費	2,500	500,000 円
	その他()		円
	()		円
	()		円
合計	37,590	7,518,000 円	
換算率 (1ポンド = 200 円)			
受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください			
JASSO奨学金			
8	留学前の準備について教えてください		
	日本から持参すべきもの		
	夏服冬服、下着、必要なら就活スーツ、ミニ扇風機(イギリスにはクーラーがないため夏季に使用)抹茶などの海外ウケの良いお菓子、日本の調味料(出汁、梅チューブ、パスタを茹でることのできるケース、インスタントのスープなど)		
	留学前にしておけばよかったこと		
英語の勉強 特に語彙力、単語力はあるに越したことはない。現地で使うカードなどの登録準備やGDPへの事前換金 日本での本人確認が済んでいないと使用できないものもあるのでできるだけ日本で準備することを推奨。現地でアルバイトなどをする予定がないのであれば現地での銀行口座開設は不要(帰国時の手続きが複雑になる可能性があるため) 事前にはWISE、およびRevolutの開設があれば十分事足りる。			

9	適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください フラットメイトとの共同生活に慣れるのは想像以上に時間がかかったし、苦戦した点であったと感じている。夜間の無断パーティーやキッチン占領は私のみならず他の生徒もストレスを感じているようであった。お酒を飲むことやパーティーをすることは彼ら、特に新一年生にはよくあることで、それを拒絶しているのではなく自分自身の快適な時間が妨げられることが苦痛であった。学習面においてはそこまで苦戦することはなかったように感じるが英語の文献を読み理解するまでには時間と労力を使った。
10	留学の成果(学習面・精神面)を教えてください 自分一人で暮らすということは大きな点であり、食事から清掃まで全て自己管理、自己責任という意識は自分を大きく成長させてくれたのではないかと感じている。そのためフラットメイトに対しても最初は常にストレスを感じていたが次第に達観できるようになった。学習面においては日本の大学ではまず講義で学びそれを活かす形が多いが、イギリスでは予習で自分自身で学んだことをさらに詳しく講義で学び、セミナーで自論展開をするという自発性の求められるものであったため総じて自分で全て行う、自立することに繋がった。また友人関係の構築においても現地のいわゆるイギリス人は、正直留学生やアジア人に興味のない人も多いため自分の日本人というアイデンティティをどのように活かすのか、どうしたら興味を持ってもらえるのか、試行錯誤することが多かったが自分なりに答えを見つけることが出来たと思う。
11	今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください 今後は就職活動に向けて夏のインターンシップに応募をしようと考えている。海外に長期間いたことがあるのは確実に強みであると思うのでその特性を活かすことのできる職業や業界に目を向けながら様々な選択肢を見ていこうと検討している。また帰国後の英語力の指標にもなるTOEICなどの受験を検討しており、それに向けて対策をしたいと考えている。
12	留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします 留学をすることは必ずどこかで成長できると思っています。自己管理であったり、行動力の面でも言えることです。私は以前カナダ長期留学を経験済みで、今回初めてのヨーロッパでの留学で様々な不安(特に人種差別など)がありましたが乗り越えることができたと思いますし、アジア人は想像以上にイギリス、(ブリストル)に多かったこともあり生活しやすかったと感じています。今回私は語学研修をつけて留学しました。ほとんどアジア人の環境で当初は当惑し悩みもありましたが、高校のクラスのような枠組みで毎日同じメンバーと顔を合わせて授業を受け、プロジェクトに取り組んだりする経験は貴重で、そこでできた友人関係は学期開始後も、帰国時までも続く大切なものとなりました。また、ローカルイギリス人の友人を作るにはフラットメイトが一番近いかなと思います。正直なところかなり当たり外れは大きいので期待しない方がいいかもしれません。またケータリングありの寮は比較的コミュニティができていたのでそれも視野に入れると良いかなと思います。また日本のことに興味のある人と関わりたいと思い、国際センターで日本語ボランティアにも参加しました。想像以上に日本が興味の対象として人気であることに驚かされ、自国を誇りに思うかなと思います。日本の著名な文化やアニメ、音楽等は事前に見ておくことで会話の幅も広がるので強く推奨します。この協定校留学に合格するまでの過程、留学中と自分自身は分からなくてもたくさんのかたを吸収して変わっていると思うのでSNSなどのコンテンツ等他と比較しすぎず自分らしい留学を楽しんで有意義にしてほしいと思います。
13	その他、ご自由に意見を書き込んでください 留学中のアルバイトについてはStudent VISA で労働が許可されているが、実際問題留学生の身分で短期間しか働くことのできない学生を雇用してもらえる可能性は低い、また勉強時間とのバランスを見て検討しなかった。レジュメ作成や採用までのプロセスが時間がかかる可能性も高い。しかしながら滞在期間をうまく調整し、最適な雇用先を見つけることができれば経験としてチャレンジすることも良いかなと思う。特に2学期の試験期間は5月頭までであるためその期間以外は授業にも慣れる頃で余裕もある可能性がある。もし現地でアルバイトを検討する場合、現地口座の開設が必要になることもあるため、その準備も必要。(Revolutの開設のみで十分とも耳にしたが不明。)

※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

国際センターホームページへの報告書の掲載を

(☒ 許可する(写真含む) ☐ 写真掲載のみ不可 ☐ 許可しない)

※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコン入力してください。
ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。



語学学校の先生とクラスメイト



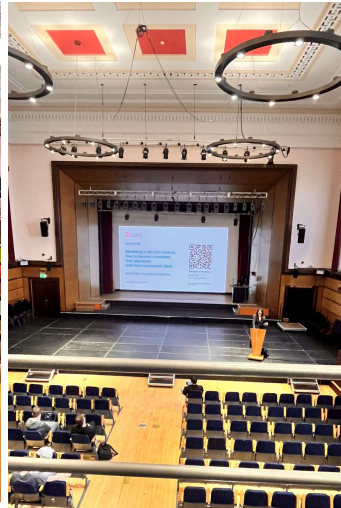
学期の寮 Winkworth house



語学研修寮
Manor Hall Sinclair house



大学の象徴的な
Wills memorial hall



講義を受けていた
Victoria rooms



Park Street 大学通り



Bristol harbour side



語学学校仲間と帰国前のfarewell party



flat の共有キッチン



Language café が行われるGlobal Lounge